

令和5年度 渋谷区青少年健全育成運動方針

渋谷区青少年問題協議会は、次世代を担う青少年が未来に向かって、夢や希望を持ち、地域社会の一員として「心豊かにたくましく成長する」ことを願い、区民が一体となって取り組むための青少年健全育成運動方針を定めます。

趣旨

日本で新型コロナウイルス感染が確認されてから3年が経過しましたが、いまだに感染の収束には至っていません。ただし、手指の消毒や換気の徹底など、一般的な感染予防対策を徹底しながらも、経済活動は止めず、行動制限も徐々に無くしていくということが、世の中の流れになってきました。この運動方針も、こうしたウィズコロナの考えを踏まえて、青少年の健全育成をさらに促進する内容にすべきであると思います。

例えばコロナ禍以前からの本方針では、少子高齢化、スマートフォン等のインターネットの普及、またそれに伴う生活の多様化など、子どもたちを取り巻く状況に目を向けてきました。加えて、現在の新型コロナウイルスとの共存が必要な社会状況においては、私たち大人はさらに子どもたちの様子や変化を見守り、はたらきかけを行う必要があります。また子どもたちの様々な活動に対して意欲や自信を持てるよう、励ます姿勢も求められています。技術が進歩し、社会が移り変わっても、お互いに支えあうことの必要性は普遍的なものであり、誰もが誰かと助け合う「共助(※)」の人間関係、そして人々のあらゆる多様性を受け入れ、その多様性をエネルギーへと変えてゆく姿勢はより不可欠なものになると考えます。

そこで渋谷区青少年問題協議会では、これらの変化する社会情勢を見つめながら、この運動方針に沿って4点の『重点目標』を定め、次世代を担う青少年の健全育成を推進していきます。そして、今後も子どもたちが心豊かにたくましく育っていくことを目標に、地域社会において緊密な連携を図りつつ、まちぐるみでの活動を推進していきます。

※ 自助・共助・公助について

- ①自助：自分自身や家族を自分たちで守ること
- ②共助：地域や近隣住民同士で助け合うこと
- ③公助：区や消防警察等の公的機関が援助や救助を行うこと

地域のつながりを大切にしよう

- 地域の人とあいさつを交わし、お互いに顔見知りになりましょう
- 地域の一員として、家族で地域行事へ積極的に参加しましょう
- 世代等を超えて、様々な人と交流する機会を積極的に作りましょう

心のかよう家庭を作ろう

- 「おはよう」や「おやすみなさい」など、毎日のあいさつを大切にしましょう
- 家族で食卓を囲み、会話を楽しみましょう
- 「早寝・早起き・朝ごはん」と適度な運動を実践し、健康的な生活習慣を身につけましょう

子どもと一緒に様々な体験をしよう

- 子どもが多様な価値観に触れる機会を作りましょう
- スポーツや野外活動など、身体を動かす楽しさや気持ちよさを体験しましょう
- 子どもの興味や関心を引き出す機会を多く作りましょう

安全で安心な環境づくりを進めよう

- スマートフォン等のインターネットの使い方・ルールを、家族で確認しましょう
- 家庭・学校・地域で連携し、まちぐるみで子どもたちを見守りましょう
- 社会のルールやマナーは、大人が手本を示しましょう